



第19回 元気いきいき町民の集い

2月6日、保健福祉支援センターこぶしにて「第19回元気いきいき町民の集い」が開催され、70人の方が参加しました。

当日は、在宅で自立して生活している90歳になられた方の「いきいき長寿賞」の授賞式や、高知に住みます芸人・淀家萬月さんによる「元気の源は笑いから」と題した漫談や落語、伝統芸能、徳島に住みます芸人・キャンパスボーイさんによる「漫才」や、抽選会など盛りだくさんの内容となりました。



今年度の「いきいき長寿賞」の対象者は10人で、うち5人の方が授賞式に参加し、町長から表彰状と記念品の授与がありました。

講師の淀家萬月さんの話しの中で、笑うことで健康状態が改善された体験について話があり、笑うことの大切さを知りました。参加された方々も、落語や漫談、伝統芸能に大いに笑い楽しい時間を過ごすことができました。

(保健センター)

くろしお協力隊がゆく!



【今月の担当者】
地域おこし協力隊
篠田 佳子

春の風が快い季節となりましたね。皆さんお変わりありませんか?ぐっちです。

私が担当しているかきせ川上流域地区では旧馬荷小学校を拠点に、さまざまなイベントやあったかふれあいセンターなどの活動を行う中で、「より一層集落の維持・活性化に取り組んでほしい」「休校中の小学校をもっと活用したい」「集落活動センターを設立してはどうか」という声が聞かれるようになりました。

さっそく、検討委員会を立ち上げ、大方橘川、御坊畑、馬荷の3集落の部落総会で集落活動センター設立に向けて取り組んで行くことが決まり、2月に3集落で全5回のワークショップを行いました。

日常的に困っていることや集落の魅力、宝、将来の希望などを住民に出し合ってもらい、改めて自分たちが暮らす集落について考え口にし、ご近所さんがこんな風に思っていたのか!あのおばあちゃんはこのことに困っていたのか!こんな宝があったのか!など気づきがたくさんありました。

さまざまな魅力や課題が出る中で、皆が自分たちの集落を大切に想い、いつまでもこの集落で暮らして行きたい、残して行きたい、と感じている事が伝わってきました。



御坊畑ワークショップの様子。世代の違う住民の方が和気あいあいと意見を出し合いました。